



主要な農作物の生育情報

平成24年度 第8号

(平成24年11月13日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

本年は、台風17号(9/30～10/1)通過に伴う倒伏の影響が懸念されましたが、被害は最小限にとどまりました。

収穫作業は、平年と比べ会津地方(南会津を除く)で全体的に早まりました。その他の地方では平年並み～5日程度遅れましたが、県全体の盛期は会津地方が早まったことからほぼ平年並み、終期が3日の遅れとなりました。

表1 各農林事務所による刈取進捗状況※

年次	刈取状況		
	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
本年	9.25	10.08	10.21
平年	9.24	10.08	10.18
平年差	+1	±0	+3

※県平均

なお、10月30日発表(東北農政局)の10月15日現在水稲の作況指数は、会津101、中通り104、浜通り101、県全体104となっております。

【大 豆】

大豆の成熟期は、地域や播種時期、品種によりばらつきがありますが全体的には平年よりやや遅れ、農業総合センター本部(郡山)のタチナガハでは10月20日(平年10月18日)となりました。

また、夏期高温・水不足の影響を受けたほ場では、茎葉の黄化・枯れの遅れが見られています。

【野 菜】

1 いちご

伊達地方や県南地方の促成栽培では、高温により花芽分化が遅れたことから、定植作業は平年比5～7日程度遅れ9月中旬～下旬に行われました。現在の生育は順調で、収穫開始は平年並みの11月下旬頃の見込みとなっております。

2 にら

県北地方の2年株は、高温・乾燥の影響で株の充実が不十分で葉幅がやや狭い傾向にありますが、順次被覆が行われており生育は順調です。年内出荷を主とするほ場では9月中旬に被覆を開始し、平年並みの10月上旬からの収穫開始となっております。

県南地方でも、高温・乾燥の影響で株の充実が不十分で葉幅が狭い傾向にありますが生育は順調です。2年株の被覆は、10月中旬から順次開始され、収穫は平年並みの11月上旬から開始される見込みです。

3 秋冬どりブロッコリー

県南地方では、高温・乾燥の影響で定植作業の遅れや定植後の生育が遅れていましたが、9月以降の降雨により生育は回復しています。収穫は平年並みの9月下旬から開始されており、11月下旬まで行われる見込みです。

4 秋冬ねぎ

いわき地方では、高温・乾燥の影響で生育が抑制されていましたが、9月以降の降雨により生育は回復し葉色も良くなっています。収穫開始は11月中旬頃からの見込みです。

【果 樹】

1 りんご

果実肥大（果樹研究所、11月1日現在）を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が平年比102%、横径が平年比104%で平年よりやや大きい状況です。また、果実の生育日数による比較でも、平年よりやや大きい状況です。

【花 き】

1 ストック

高温の影響により生育が5日程度遅れ草丈はやや短めですが、出荷は10月中旬から始まっています。出荷盛期は概ね平年並みの11月中旬頃になる見込みです。

2 シクラメン

県内の主要産地ともに、生育は順調で11月中旬から出荷される見込みです。12月出荷用鉢物の生育も順調であり、現在、出荷に向けた葉組み管理作業が行われています。

3 ユキヤナギ

株の生育は、夏期の乾燥の影響から草丈がやや短めとなっています。年末出荷用の早期促成栽培による出荷は、平年並みの12月中旬から始まる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224